

令和4年度特色検査 問1 解説

【全訳】

会話文 I

- オカ先生 : 北極海に浮かぶ氷の中を通過して進む船について聞いたことがありますか。
- ユミ : はい、あります。現在、日本からヨーロッパへ行くためには、ほぼ全ての船がスエズ運河を通過しています。しかし、将来は北極海を通過して行く船が増えるかもしれません。
- オカ先生 : その通りです。この絵を見てください。横浜からロッテルダムへは、二つの航路があります。船がスエズ運河を通過して行くとき、航路は 21,000 km になります。でも、もし北極海を通過して行けば、航路は 12,600 km になります。それは、北極海を通る航路が、スエズ運河を通る航路の あ60% になることを意味しています。北極海を通れば、横浜からロッテルダムに行くために必要な時間も短くなる、ということですね？
- ユミ : はい。その船はエネルギーを節約できるので、良いことです。
- リク : 北極海にはたくさんの氷があるので、船がそこを通過して行くことはたいへんなのではないかなと思います。
- オカ先生 : それは良い指摘ですね。ユミ、何か考えはありますか？
- ユミ : 氷が解けてきているので、船が北極海を通ることはより簡単になるだろうと思います。
- オカ先生 : その通りですね。このグラフを見てください。このグラフは、1980年から2020年までの北極海の最小海氷面積を示しています。北極海の最小海氷面積をここでは“アシマ”と呼びましょう。リク、グラフはあなたに何を伝えていますか？
- リク : 1980年のアシマはグラフの中で一番広いです。1990年のアシマは2000年のアシマとほぼ同じ広さです。2010年のアシマは、2000年のアシマより小さいです。アシマは、1980年から今日までに、大きく減少しています。これは地球温暖化のせいだと思います。
- オカ先生 : それはもう一つの良い指摘ですね。グラフは、2012年のアシマが最も小さいことを示しています。多くの人々はそれを聞いて驚きます。
- リク : もし北極海の氷が解け続けたら、そこに住む動物たちに何が起こるんですか？
- ユミ : ホッキョクグマの数が減っているそうです。なぜなら、彼らは歩いて食料を見つけるため、氷を必要としているからです。彼らの生息地である氷が小さくなったら、食料を得るためにたくさん泳がなければならなくなるでしょう。
- オカ先生 : い氷が解けることは、人々の生活も変えつつあります。例えば、その地域に住んでいる人々は、彼らが移動できる地域が小さくなっているために、食料となる動物を捕まえることができないのです。
- リク : それでは、その地域では動物も人々も安全に生きられないということですね。
- オカ先生 : それぞれの航路には良い点と悪い点があります。北極海航路についてもっと学んで、明日の午後、もう一度それについて私と話しませんか？
- ユミ : わかりました。私はその航路について知るのにインターネットを使ってみます。
- リク : 僕もそうします。

会話文Ⅱ

- オカ先生 : こんにちは、新しい北極海航路について、昨日何を学びましたか？
- ユミ : 私はいくつかのことを学びました。①多くの人々が新しい航路を使おうとしています。中国や日本、ロシアのような国々は、新航路を使えばスエズ運河航路よりも早く船が到着でき、エネルギーも節約できるので、新航路に興味を持っています。それらの国々は、スエズ運河航路を通る船がときどき海賊による攻撃を受けるので、新航路はより安全だとも考えています。
- リク : 僕は新しい航路について、いくつかの悪い点を学びました。もし新しい航路を使う船がだんだん増えたら、例えば石油流出のような事故がより多く起こるかもしれません。そういった事故は、その地域を害することにもなります。それはそこに住む人々にとっても動物にとっても良いことではないでしょう。船が新航路で事故を起こしたとき、その船は港に停泊しなければなりません。でも、北極海には船が利用できる港はほんの少ししかありません。もし長い間、船がどの港にも到着できなければ、船上の人々は食料や水を手に入れられないでしょう。②私たちはこれらの悪い点について考えるべきです。
- ユミ : スエズ運河航路が数日間使えなかったと聞いたことがあります。多くの船が、そこを通れませんでした。私たちは新しい航路が必要です。もし新しい北極海航路が使われていれば、多くの船が別の方法を選ぶことができました。
- リク : それは分かります。もし多くの人々が新しい航路を使えば、彼らはホッキョクグマのような動物を見に北極海を訪れることができます。動物たちの生息地は壊れやすく、害を受けるかもしれないので、生きるのもっと難しくなるでしょう。
- オカ先生 : ユミとリク、あなたたちは新航路について良い部分と悪い部分に気付きました。ある事柄の、良い点と悪い点について学びそして考えると、より一層理解が深まりますね。

【解説】

- (ア) It means that the route through the Arctic Ocean is ① of the route through the Suez Canal. (それは、北極海を通る航路が、スエズ運河を通る航路の ① になることを意味しています。)とあるので、It(それ)の内容に注目し、直前の文を確認する。

スエズ運河航路が 21,000 km、北極海航路が 12,600 kmと、それぞれの距離が書いてある。

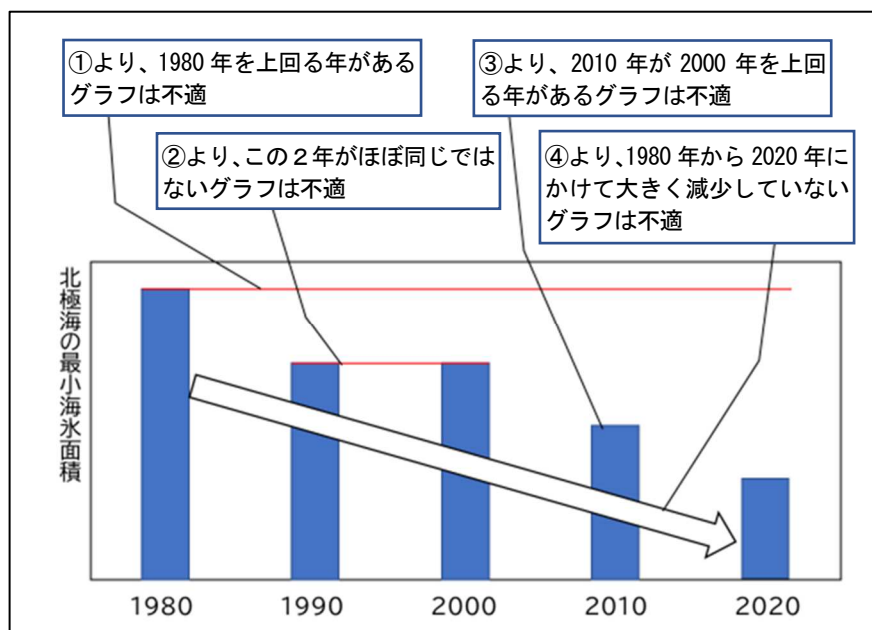
したがって、

$$\frac{\text{比べられる量(北極海航路の距離:12,600 km)}}{\text{もとにする量(スエズ運河航路の距離:21,000 km)}} \times 100 = 60\%$$

となる。

- (イ) Look at this graph. というオカ先生の発言の最後に、Riku, what does the graph tell you?(リク、グラフはあなたに何を伝えていますか?)とある。したがって、この質問に対するリクの応答が選ぶ根拠となる。
[リクの答えのポイント]
- ①1980年のアシマはグラフの中で一番広い
 - ②1990年のアシマは2000年のアシマとほぼ同じ広さ
 - ③2010年のアシマは2000年のアシマより小さい
 - ④アシマは1980年から今日までに、大きく減少している

- ①より、1980年より広い年がある 1 と 4 が不適
 ②より、1990年と2000年が大きく異なっている 3 と 5 が不適
 ③より、2010年が2000年よりも広がっている 3 が不適(3は②によってすでに不適とされている)
 ④より、1980年から今日(2020年)までに、大きく減少していない 6 が不適
 以上より、条件にあてはまるのは、2 と分かる。



参考 1980年は“nineteen eighty”、1990年は“nineteen ninety”と読む。2000年は“(the year) two thousand”。2010年は“two thousand (and) ten”も“twenty ten”も使われる。2020年も同様に、“two thousand (and) twenty”とも、“twenty twenty”とも言う。

- (ウ) **い** …空欄の後は、氷が減ることによってその地域の人々が食料を得るのが難しくなるという話題が続くので、3「氷が解けることは、人々の生活も変えつつあります。」が入る。
- う** …空欄の後は、中国や日本、ロシアといった国々が、その利便性から北極海航路に興味を持っているという話題が続くので、4「多くの人々が新しい航路を使おうとしています。」が入る。
- え** …空欄の文で終わるリクの発言は、「僕は新しい航路について、いくつかの悪い点を学びました。」という文で始まり、その後も北極海航路上で事故が起きた時の地域への悪影響や船員の食糧調達の問題について話しているので、1「私たちはこれらの悪い点について考えるべきです。」が入る。
- したがって、いずれにもあてはまらない 2「それらをあたためるために、私たちはそれをいつ運ぶのか決めるだろう」が正解となる。
- (エ) a. 将来、より多くの船が日本からヨーロッパに行くために北極海を通るかもしれない。
 →ユミの最初の発言と一致するので「正」
- b. 北極海の氷が解けてきているので、ホッキョクグマはより多くの食料を得ることができる。
 →ユミの四つ目の発言に反するので「誤」
- c. 日本からヨーロッパまで、スエズ運河を通る航路は北極海を通る航路より短い。
 →オカ先生の二つ目の発言にあるように、北極海を通る航路の方が短いので「誤」
- (オ) オカ先生がまとめた文章の空所に入る各文の意味は、以下の通り。
- a. 動物たちの生息地が損なわれるかもしれないので、そこに住むのは難しくなるかもしれません。
- b. もしその航路で事故が起これば、船に乗っている人々は食料や水を得ることが難しくなるでしょう。

- c. ユミとリクは、新しい航路の良い点と悪い点について学び、考えました。
- d. また、スエズ運河航路では、ときどき船が海賊による攻撃を受けているので、北極海航路を通ることは船にとってより安全になるでしょう。
- e. もしスエズ運河航路が使えなければ、多くの船が新航路を使うでしょう。

これらの文を、本文で話し合われていた「新航路の良い点・悪い点」という視点でグループ分けする。

・良い点についての文 … d e

・悪い点についての文 … a b

・どちらにも該当しない文 … c (今回の会話文全体をまとめるような内容になっている)

これをもとに、まとめの文の内容を確認し、空所を埋める。

〔まとめの文の訳〕

第1段落

ユミとリクは、スエズ運河航路と北極海航路について学んでいます。ユミは、北極海航路は、いくつかの良い点があることを学びました。しかし、今は多くの船がスエズ運河航路を通っています。[お] 新航路は、船がより早く着くことになり、エネルギーの節約に役立ちます。[か] だから、ユミは新航路を使うことは良い考えだと思っています。

第2段落

しかしリクは、新航路について悪い点もあるということを学びました。もしその航路が使われれば、多くの人々が頻繁に北極海に住む動物を見に来るかもしれません。[き] だから、リクはそこに住む動物たちについて心配しています。リクは、事故が増えるかもしれないということも学びました。

[く] 船が使うことができる港は北極海には少ししかないのです。

第3段落

[け] 私は今、彼らがより一層それらを理解していることを期待します。

第1段落は、ユミが学んだ新航路の良い点について書かれている。したがって、dとeが2か所の空所に入ると考えられる。順番は、dがAlso(また)で始まっていることから、e→dの順番になると分かる。(または、1～8の選択肢にはd→eの順番になっているものがないことから絞り込むこともできる)

第2段落は、リクが学んだ新航路の悪い点について書かれている。したがって、aとbが2か所の空所に入る。空所[き]は、前後に動物の話題があるので、aが該当。空所[く]の前後は事故についての話題なので、bが入る。(選択肢でaとbの組み合わせになっているのは7のみであることから絞り込むこともできる)

第3段落は、まとめの段落になっているので、cが入る。